

えどがわ 江戸川 (江戸川水門上流)

江戸川の水は水道水として使われるため、江戸川水門によって海水が混ざらないようにしています。水門を境に上流では淡水にすむ生き物が多く、とくに大きな魚がたくさんすんでいます。



ハクレン

出会い度: ★★★★★

江戸川でもっとも大きい魚のひとつで、さんそ不足に強く空気呼吸ができます。レンギョとも呼ばれます。



ベンケイガニ

出会い度: ★★★★★

クロベンケイガニと比べ、全体が赤い色をしていて、どちらも足に毛があります。



コイ

出会い度: ★★★★★

流れがゆるやかなところにいます。とても長生きで、ふつうで20年、長いものだと70~80年をこえます。



アユ

出会い度: ★★★★★

4月中ごろ、江戸川河口を大ぐんで上流へおよいでいくアユの子どもが見られます。



ヒメタニシ

出会い度: ★★★★★

帰化生物ですが、汽水域にもすみ、よごれた水に強いです。



モツゴ (クチボソ)

出会い度: ★★★★★

池や小川の岸边にかくれるようにすんでいます。なんでも食べ、黒い「シマ」は地域でちがいがあります。



ウシガエル

出会い度: ★★★★★

食用として北アメリカから輸入したものがすみつきました。「ボーボー」となきます。

ミシシッピーアカミミガメ

出会い度: ★★★★★

ペットとして北アメリカから入ってきました。「ミドリガメ」として売られていますが、かいかれずに、すてられることが多くなっています。



マルタウグイ

出会い度: ★★★★★

行動はんいが広い魚で、なんでも食べます。はんしょくの時期になると、色があざやかになります。



シオカラトンボのヤゴ

出会い度: ★★★★★

よく見られるトンボの幼虫。ヤゴはアカムシ(ユスリカ)が大好きです。

ユスリカ

出会い度: ★★★★★

気温が上がると川や水路でいっせいに羽化します。



ミズカマキリ

出会い度: ★★★★★

池や水たまりで見られ、今は河川敷の用水路あとにひっそりとくらしています。



調べてみよう

水生生物はどんなところでたまごをうむの?



淡水 (大河川)

淡水 (錦水公園や緑道)

汽水 (大河川)

汽水 (錦水公園や緑道)

海水

家のまわり

川や池

河川敷

干潟

海